

熊本・大分地震

電子業界の状況

富士フイルムの生産子会社で、TAC（トリアセチルセルロース）フィルムを生産する富士フイルム九州（熊本県菊陽町）は、地震の影響で操業を停止しているが、稼働再開に向けた準備に着手した。今週末から試運転を開始し、順次再稼働させる。当面の出荷分は在庫している。なお、必要に応じて神奈川県や静岡県の工場の活用も検討する。

三菱電機が熊本県合志市に構えるパワーデバイス製作所は、地震の影響により操業を停止している。建屋の倒壊はない。生産再開時期は未定。同県菊池市の液晶ディスプレイ工場も建屋の倒壊は

ない。生産再開時期は未定。長崎県諫早市の高周波・光デバイス工場は地震の影響はなく、稼働を続けている。

ソニーが熊本県菊陽町に構える生産子会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングの熊本テクノロジセンターは、生産活動を停止している。同工場ではデジタルカメラや監視カメラ向けイメージセンサーやディスプレイデバイスを生産している。長崎県と大分県の工場は順次復旧し、生産を再開している。鹿児島県の工場は地震後も稼働を継続している。

ルネサスエレクトロニクスの子会社、ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリングが熊本市南区に構える川尻工場は、クリーンルーム内の

安全確認ができ、調査を開始した。生産開始時期は未定。

凸版印刷子会社のトッパンパッケージングロダクソ玉名工場（熊本県玉名市）は一部加工機械を除き稼働を再開。全設備稼働は22日を見込む。トッパンエレクトロニクス（同）ロダクツ熊本工場（同）は建屋・生産設備の一部を損傷。生産再開を未定としている。

HOYAMAマスク事業部が熊本県菊池郡大津町に構える熊本工場が設備、装置など被災。16日に発生した火災は鎮火した。製造する液晶パネル製造用大型マスクの一部は台湾、韓国拠点で振替製造。半導体製造用マスクは八王子工場で振替製造を行う。熊本工場の部分操業も早期の立ち上げを検討中。